

# 大韓民国全羅南道の恐竜の足跡の化石

長 島 昭

## 地学散歩 (64)

第14回オストラコーダ(介形虫・甲殻類)国際シンポジウム本会議が静岡大学で開催されるに当たり、5つの巡検会が行われた。その一つである「中生代淡水オストラコーダ(大韓民国)」の巡検会に参加し、最近全羅南道で発見された恐竜の足跡の化石を見学したので報告する(巡検コース全体の報告は本文中45ページにある)。

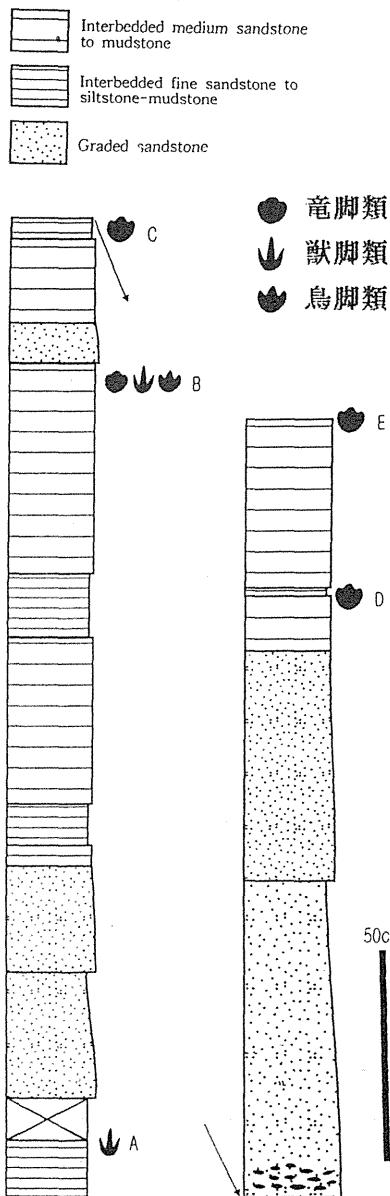


図1 恐竜の歩行列のある地層を示す柱状図

足跡、這い跡、巣穴の跡等は動物の生活の跡を物語る化石で、「生痕化石」と呼ばれており、それらは生痕の発見された場所で動物の行動の記録であり、生痕を遺した動物たちの行動の特徴、生活の仕方、生活の場所やそこを取り巻く環境などを推測する手がかりを与えてくれる。

### ① 光州市近郊、和順郡の採石場(見学地3)

採石場のある地域は白亜紀の慶尚群層・ジャンドン亜層群(黒色頁岩、細粒砂岩、凝灰岩など)(約9千万年前～1億年前)が分布している。

恐竜の足跡の化石は丘陵の麓の採石場の奥から入口へ緩く傾く砂岩や泥岩の部分から発見され、よく保存されていた。この採石場は3つの層準から成っている(図1)。

写真1 3本指の恐竜(獣脚類・肉食・2足歩行)の足跡の列は壮観で約50mも続くものもある。この足跡の列は下位の層準の層理面にある。この層理面には足跡列は他に5本ある。奥には竜脚類の足跡化石もあった。

写真2 恐竜(竜脚類・大型草食)の足跡の列は採石場左端近くの中位の層準の細粒砂岩の表面にあった。

写真3 竜脚類の足跡化石 上位の層準の細粒砂岩には竜脚類の足跡や漣痕、乾裂、ストロマライトや植物の化石が見られることからこの採石場のある地域は、恐竜が住んでいた時代には湖の端であって、近くには火山活動があり、しばしば乾燥気候であったことが推測される。

写真4 麗水港沖のChudo島の恐竜(鳥脚類・大型草食)足跡化石 島の海食台(砂岩)の表面に約30cmの大きさの足跡の化石があった。



写真1 3本指の恐竜（獣脚類・大型肉食・2足歩行）の歩行列

左下 3本指の恐竜（獣脚類・大型肉食・2足歩行）の足跡化石



写真2 恐竜（竜脚類・大型草食・4足歩行）の歩行列

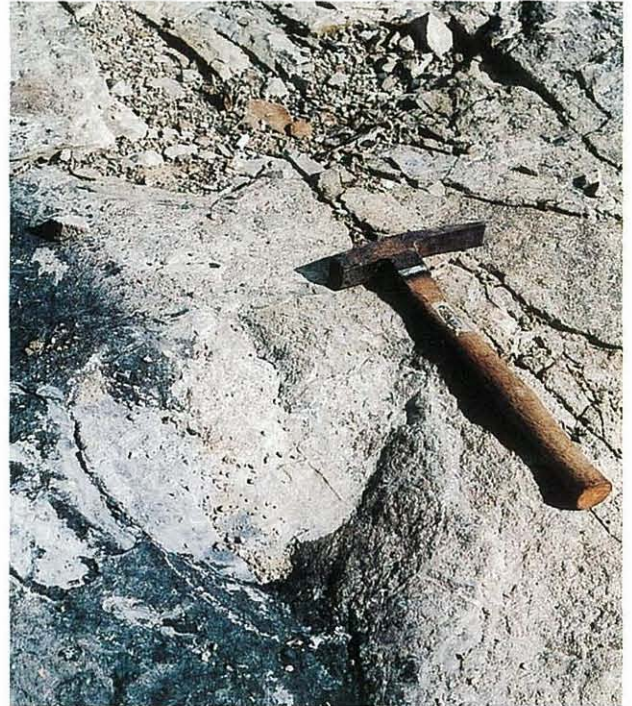


写真3 恐竜（竜脚類・大型草食・4足歩行）の足跡化石

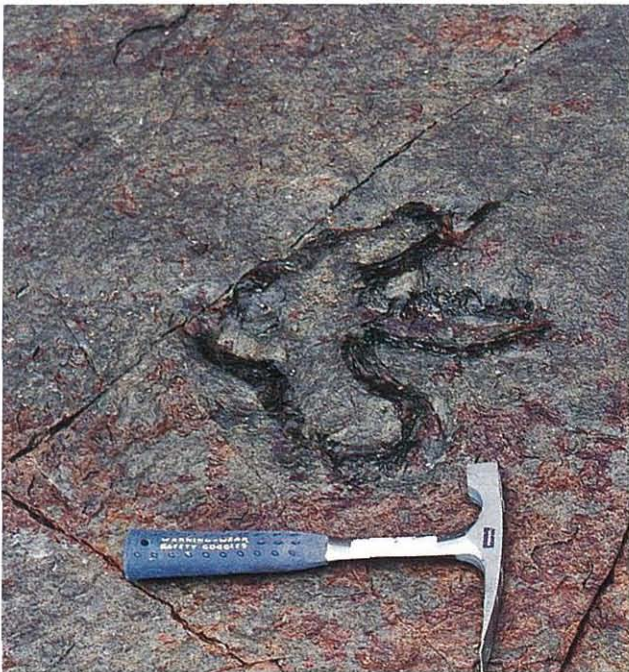
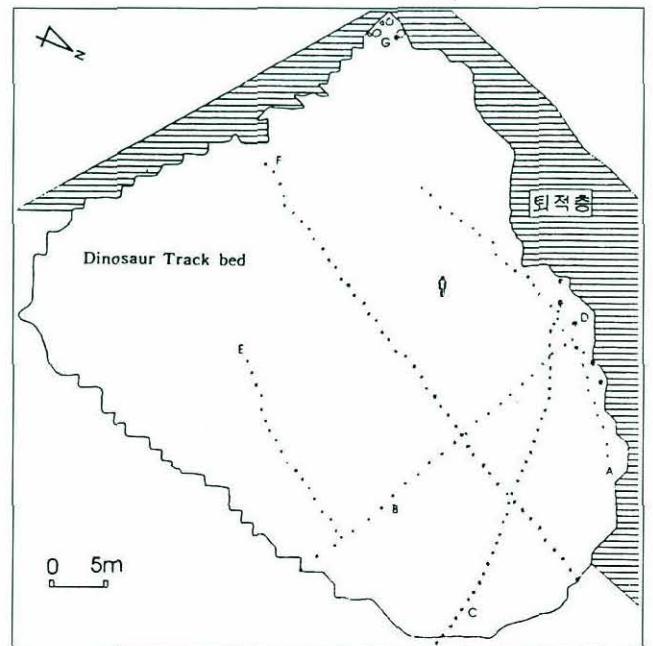


写真4 恐竜（鳥脚類・大型草食・4足歩行）の足跡化石



A-F: Theropod trackways, G: Sauropod trackways

図2 恐竜の歩行列示す分布図